平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月29日

上場会社名　東洋埠頭株式会社　　上場取引所　東
コード番号　9351　URL　http://www.toyofuto.co.jp/
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 三浦等
問合せ先責任者 (役職名) 経理部審査課長　(氏名) 佐古一彦　TEL 03-5560-2702

四半期報告書提出予定日　平成25年8月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	8,737	△3.0	455	△10.9	463	△13.7	278	16.7
25年3月期第1四半期	9,003	△0.1	511	3.8	537	2.1	238	△26.9

(注)包括利益　26年3月期第1四半期　458百万円　(139.7%)　25年3月期第1四半期　191百万円　(△26.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	3.62	―
25年3月期第1四半期	3.10	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	40,413	18,798	46.4	243.38
25年3月期	40,210	18,533	46.0	239.93

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　18,756百万円　25年3月期　18,490百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	2.50	―	2.50	5.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		2.50	―	2.50	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,500	△0.1	980	4.6	960	8.2	590	56.2	7.66
通期	33,400	△0.2	1,600	2.2	1,600	6.0	850	6.3	11.03

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	77,400,000 株	25年3月期	77,400,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	331,708 株	25年3月期	330,509 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	77,069,015 株	25年3月期1Q	77,073,249 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 2
（１）経営成績に関する説明 2
（２）財政状態に関する説明 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 4
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示 4
３．四半期連結財務諸表 5
（１）四半期連結貸借対照表 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 7
四半期連結損益計算書 7
第１四半期連結累計期間 7
四半期連結包括利益計算書 8
第１四半期連結累計期間 8
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 9
（継続企業の前提に関する注記） 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） 9
（セグメント情報等） 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間における日本経済は、大規模な金融緩和政策や経済政策を背景にした、円安、株高が進行し、国内景気は穏やかに回復傾向にあるという見方があるものの、欧州金融不安の長期化や新興国の経済成長の鈍化など、依然として、先行き不透明な状況が続いています。

当埠頭・倉庫業界においても、国内の荷動きは依然として鈍く、今後、アベノミクス効果による景気浮揚が期待されるところですが、これまでのところ荷動きの回復には至っておらず、厳しい状況が続いています。

当第１四半期連結累計期間における当社グループの業績は、厳しい環境の中、積極的な営業活動と費用の削減に努めましたが、荷動きが悪く、取扱いが減少し、グループ全体では、営業収入、営業利益、経常利益とも前年同期実績を下回りました。

しかしながら、前年同期は投資有価証券評価損を計上したことから、四半期純利益では、前年同期対比で増益となりました。

当期の営業収入は８７億３千７百万円（前年同期比２億６千６百万円、３．０％の減収)、営業利益は４億５千５百万円（前年同期比５千５百万円、１０.９％の減益)、経常利益は４億６千３百万円（前年同期比７千３百万円、１３.７％の減益）となりました。四半期純利益は２億７千８百万円（前年同期比３千９百万円、１６.７％の増益）となりました。

セグメントの概況は次のとおりです。

○　国内総合物流事業

≪倉　庫　業≫

倉庫業における入出庫数量は、８８万トン（前年同期９４万トン)、平均保管残高は、２４万トン（前年同期２９万トン）でした。

一般貨物では、米の取扱いは増加しましたが、合成樹脂や紙製品などが大きく減少し、全体でも前年同期より減少しました。

輸入青果物は、キーウィの取扱いがやや増加しましたが、主力のバナナの取扱いが減少したため、前年同期を下回る取扱数量となりました。

冷蔵倉庫貨物は、冷凍水産物、農産物とも減少し、前年同期を下回る取扱いとなりました。

倉庫業の営業収入は、２７億４千９百万円となり、前年同期比３.２％の減収となりました。

≪港湾運送業≫

バラ貨物の埠頭取扱量は、１４３万トン（前年同期１１４万トン）でした。

穀物類は、志布志地区の取扱いは増加しましたが、川崎・鹿島両地区で減少したため、全体では前年同期をやや下回る取扱いとなりました。石炭類は、川崎地区、豊洲地区とも取扱いが大きく増加したため前年同期を上回りました。また、その他のバラ貨物の取扱いも増加しました。

バラ貨物以外の貨物は、輸入青果物の取扱いが減少しました。

コンテナ取扱数量は、常陸那珂地区及び志布志地区の取扱いが減少しましたが、東扇島地区の取扱いが新規航路船の寄港開始に伴い増加し、前年同期を上回る取扱いとなりました。

港湾運送業の営業収入は、１９億７千１百万円となり、前年同期比３.６％の増収となりました。

≪自動車運送業≫

自動車運送業の営業収入は、１５億３千１百万円となり、前年同期比０.４％の減収となりました。

≪その他の業務≫

その他の業務では、物流関連施設の賃貸業務、工場構内作業及び海上運送・通関等の業務において、取扱いが前年同期を下回りました。

その他の業務の営業収入は、１７億８千７百万円となり、前年同期比７.７％の減収となりました。

以上の結果、国内総合物流事業全体の営業収入は、８０億４千万円となり、前年同期比２.１％の減収、営業利益は４億２千６百万円となり、前年同期比１３.２％の減益となりました。

○　国際物流事業

当セグメントは、連結子会社である株式会社東洋トランスとロシアの現地法人であるOOO 東洋トランス、OOO TB 東洋トランスの３社で構成されています。

ロシア経済は原油価格の下落、政策金利の引き上げ等により減速傾向にあり、今年の後半から回復に転じるものの、そのペースは緩やかであると予想されています。このような状況の中、通関やそれに附帯する運送は減少しましたが、収益率の良いロシア向け貨物輸送及び倉庫貨物の取扱いは増加しました。

国際物流事業における営業収入は、７億２千万円となり、前年同期比１０.２％の減収となりましたが、営業利益は２千６百万円となり、前年同期比５４.６％の増益となりました。

（２）財政状態に関する説明

全般の概況

当第１四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ２億２百万円増加し４０４億１千３百万円となりました。流動資産は現金及び預金が増加したことなどにより２億２千３百万円増加しました。固定資産については、株価の上昇により投資有価証券は増加しましたが、有形固定資産の償却による減が大きく２千１百万円減少しました。純資産は、その他有価証券評価差額金が１億８千万円増加したことなどで前連結会計年度末に比べ２億６千４百万円増加し１８７億９千８百万円となりました。その結果、自己資本比率は４６．４％で前連結会計年度末比０．４ポイント上昇しました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの営業活動による連結業績は、第２四半期以降荷動きの回復を見込むことから、平成２５年５月１５日の決算短信にて公表いたしました第２四半期累計期間および通期の連結業績予想につきましては、変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更･会計上の見積り変更･修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,893	2,160
受取手形及び営業未収入金	4,002	4,111
原材料及び貯蔵品	144	140
前払費用	155	196
繰延税金資産	273	167
その他	488	405
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	6,952	7,176
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	52,107	52,131
減価償却累計額	△37,006	△37,273
建物及び構築物（純額）	15,101	14,857
機械及び装置	19,074	19,063
減価償却累計額	△16,689	△16,803
機械及び装置（純額）	2,385	2,260
船舶及び車両運搬具	1,103	1,106
減価償却累計額	△996	△1,001
船舶及び車両運搬具（純額）	106	104
工具、器具及び備品	985	984
減価償却累計額	△895	△898
工具、器具及び備品（純額）	90	86
土地	8,359	8,359
リース資産	173	156
減価償却累計額	△114	△105
リース資産（純額）	59	50
建設仮勘定	13	200
有形固定資産合計	26,115	25,919
無形固定資産		
リース資産	31	28
その他	161	159
無形固定資産合計	193	187
投資その他の資産		
投資有価証券	4,956	5,222
長期貸付金	34	33
繰延税金資産	279	186
その他	1,757	1,765
貸倒引当金	△79	△79
投資その他の資産合計	6,949	7,129
固定資産合計	33,258	33,237
資産合計	40,210	40,413

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
営業未払金	2,871	3,058
短期借入金	6,313	6,673
リース債務	45	40
未払法人税等	433	88
未払金	749	732
設備関係支払手形	111	214
その他	1,013	1,024
流動負債合計	11,537	11,832
固定負債		
長期借入金	8,297	7,968
リース債務	43	35
繰延税金負債	2	2
退職給付引当金	1,071	1,095
役員退職慰労引当金	67	61
資産除去債務	550	553
その他	108	65
固定負債合計	10,140	9,782
負債合計	21,677	21,615
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,260	8,260
資本剰余金	5,182	5,182
利益剰余金	4,529	4,615
自己株式	△53	△53
株主資本合計	17,918	18,004
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	536	716
為替換算調整勘定	35	35
その他の包括利益累計額合計	572	752
少数株主持分	42	41
純資産合計	18,533	18,798
負債純資産合計	40,210	40,413

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
営業収入	9,003	8,737
営業原価	8,081	7,857
営業総利益	921	879
販売費及び一般管理費	410	424
営業利益	511	455
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	49	49
受取地代家賃	21	19
その他	37	21
営業外収益合計	109	92
営業外費用		
支払利息	73	64
持分法による投資損失	7	13
その他	2	6
営業外費用合計	83	84
経常利益	537	463
特別利益		
固定資産売却益	15	－
特別利益合計	15	－
特別損失		
固定資産除却損	13	0
投資有価証券評価損	154	－
特別損失合計	168	0
税金等調整前四半期純利益	384	463
法人税、住民税及び事業税	28	83
法人税等調整額	119	101
法人税等合計	147	185
少数株主損益調整前四半期純利益	236	278
少数株主損失（△）	△2	△0
四半期純利益	238	278

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	236	278
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33	180
為替換算調整勘定	△11	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	2
その他の包括利益合計	△45	180
四半期包括利益	191	458
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	193	459
少数株主に係る四半期包括利益	△2	△0

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自　平成24年4月1日　至　平成24年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）1	四半期連結損益計算書計上額（注）2
	国内総合物流事業	国際物流事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,202	801	9,003	－	9,003
セグメント間の内部売上高又は振替高	13	0	14	△ 14	－
計	8,215	802	9,018	△ 14	9,003
セグメント利益	491	17	509	2	511

（注）１．　調整額は、セグメント間取引消去です。
　　２．　セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行なっています。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間（自　平成25年4月1日　至　平成25年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）1	四半期連結損益計算書計上額（注）2
	国内総合物流事業	国際物流事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,018	718	8,737	－	8,737
セグメント間の内部売上高又は振替高	21	1	23	△ 23	－
計	8,040	720	8,760	△ 23	8,737
セグメント利益	426	26	453	2	455

（注）１．　調整額は、セグメント間取引消去です。
　　２．　セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行なっています。